



田端 好隆 議員

新幹線の進捗状況について

問 宇城市が合併し1年の間、市長に置かれては、朝早くから先頭に立って、市民のために努力をされてきたことに、

心から感謝申し上げます。新幹線の進捗状況について、200%以上の確率で達成できると思うが、高度交通政策を考えると、新幹線を中心に、大きな交通形態を考えたながら取り組んでいたいただきたいと思うがいかがか。

市長 将来の宇城市を考え

たときに、単なる通過点になつてしまえば、公共交通機関の谷間となり、産業経済活動の沈滞が危惧される。拠点づくりについては、松橋駅と新幹線駅を中心とした九州の

拠点都市を築き上げたい。最小の経費で最大の効果が挙げられるよう事業展開をしたい。

儲かると行政への移行について

問 財源をどういうふうに確保していくのか。誘致企業を探し、交渉し、そして引張つてくるということを考えているのか。

市長 自主財源の柱である税収をより一層伸ばすためには、企業誘致による雇用増大が不可欠である。そのため、

機構改革を行い、雇用対策課に企業誘致係、雇用対策係を配置した。あらゆる角度から企業誘致と雇用拡大の実現に向け邁進しているところである。

夢の宅地構想と豊野町のベタタウン化について

問 豊野は安い土地が非常に多く存在している。安いか、若者にはもってこいである。宅地開発をして、ベッドタウン化を進めていきたいと考えているが、そういう構想を

実現するために、市長はどう考えているか。  
市長 宇城市における住宅地域として、豊野町は優良宅地の一つと考えている。豊かな自然環境と利便性のよい立地条件から、郊外型ベッドタウンとして考えている。豊野町は上下水道も完備され、土地単価も安く、住宅地開発条件が整っていると理解している。できるだけ民間による開発を促進するように検討したい。



深田 義實 議員

市の道路行政について

問 道路は、社会生活、社会活動、経済活動になくてはならない。市長の道路行政についての理念を伺いたい。

市長 道路は、日常生活を支える重要な社会資本であり、欠くことのできないものである。

問 市長は、国道218号線を利用して何か気付くことはないか。

市長 歩道が十分出ていない所がある事と、橋が狭いという感じを持っている。

問 国道218号は、松橋から豊野までは40年代初め、一番早く改良舗装がなされたため、今では非常に窮屈な感じを受ける。高校生が、松高、

宇土高更に、駅を利用して熊本、八代方面に多いが、歩道が狭く非常に危険な状況であり、国県に働きかけ拡幅をやつてもらいたい、どのようなか考えか。

市長 狭々な所、十分な歩道ができていない所がある。

四車線は難しいにしても、最低三車線でもと話し合つており、必要なら期成会でも作つて運動を展開していきたい。

問 土地収用法に基づく処理はできないか。

土木部長 法に該当してい

父子家庭に対する対策について

問 母子家庭に対してはいろんな施策が講じられているが、父子家庭に対してはほとんどない。市長の認識を伺いたい。

市長 母子家庭に対しては、物心両面での支援を行っているが、父子家庭に対しては、

精神面でのサポートが中心で、母子家庭への支援策と比較すると格段の差がある。  
問 市長は、健康立市宣言をされ、一般財源を使つて無料のMRI検診をしている。父子家庭に対しても一般財源を使えば、福祉日本一にも該当すると感じるが。

市長 母子家庭と父子家庭、あまりにも違いがある。経済支援、子供の医療費の支援、医療費の助成ができるのかどうか、実態調査をした上で前向きに検討したい。

防災無線の整備について

問 防災行政無線の、中継局・屋外拡声器の設置箇所など、具体的にどうなるのか。

市長 18年度は、電波事情の調査、中継局・拡声器の設置箇所の調査を行い、結果に基づき本庁親局の整備と、現在保有の不

知火・小川支所への無線接続設備を整備し、松橋全地域の屋外拡声器を設置。19年度に三角全地域の整備を計画。20年度に豊野をデジタル化し、宇城市全域への一斉放送ができる計画である。

公立（市立）保育所の今後の方針について

問 22年度までに検討するとなつているが、住民に対して説明会・地区懇談会等を十分重ねて、取り組むべき問題ではないか。

市長 18年度予算で概略の建物診断を行う。保育所運営のあり方について検討する時期にあり、住民の皆様のご意見を賜りながら、対処する。

●この質問要約は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。（発言順に掲載）



稲葉 茂見 議員

誉ヶ丘公園周辺整備計画は

問 水と自然に恵まれた誉ヶ丘公園と文化財指定の浄水寺史跡の整備で、県内有数の公園へ。



整備が期待される誉ヶ丘公園と鑑ヶ池遊歩道

市長 誉ヶ丘公園周辺整備事業として、3つの溜池と北側一帯、文化財である浄水寺を含め、自然とのふれあいを

促進する市民の森として公園整備を進めたい。萩尾大溜池から鑑ヶ池の遊歩道の整備をはじめ、全体的見直しを行い、文化の香り高い魅力的な公園として充実を図りたい。総合的に開発するには、駐車場、トイレ問題、安全に散策できる遊歩道及び連絡道路の検討、併せて浄水寺と一体性をもたせ、古典芸能や野外コンサートなどを堪能できる文化施設等も検討し、一帯を市民の癒しと憩いの場の拠点、市民の森として計画的



全国的にも珍しい浄水寺古碑群

な整備を図るため、18年度に調査費を計上している。豊野

の浄水寺には、古碑群4基があり、寺院の石碑に文字が刻まれていたものは非常に珍しく、全国的にも数少ない古碑であり、大変貴重な財産である。浄水寺古碑群を国指定文化財へ向けて再度の要請をお願いしているところであり、浄水寺古碑群を多くの方々に紹介するため、本市の観光ルートを創設する段階で、誉ヶ丘公園との連絡遊歩道を整備する方向で取り組んでいきたい。